## 令和6年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

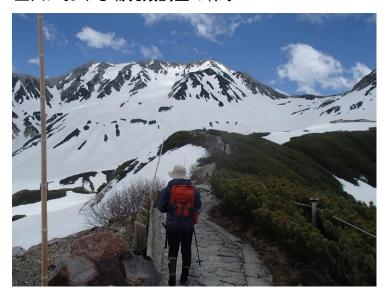
大学等名: 富山大学

代表学生: 松宮 匠吾

指導教員: 山崎 裕治

研 究 題 目	獣害管理 vs 希少種保護:哺乳類の出現マップの作製
(応募部門)	(自由研究部門)
	富山県は、多彩な環境を持ち、国内でも有数の自然度を示
研 究 概 要	す地域である。富山県には、50種を超える哺乳類が生息して
	いるが、それら哺乳類の出現状況の実態把握は未だ不十分で
	ある。そこで本研究では、富山県内の広域でフィールドワー
	クを行い、哺乳類の痕跡から、形態情報や遺伝子分析に基づ
	き出現種を特定する。そして景観分析を通して、それぞれの
	哺乳類の出現確率を地域ごとに数値化し、富山県全域におけ
	る哺乳類の出現マップを作製する。以上を通して、富山県に
	おける哺乳類の生息実態を把握すると共に、獣害管理あるい
	は希少種保護のホットスポットの探索を試みる。
	富山県内各地における哺乳類の出現状況を確認するため
これまでの活動状況と	に、平地、丘陵帯、山地帯などに加えて、許可・届出等を行っ
今後の活動予定	た上で、立山カルデラや立山・室堂平などの幅広い範囲にお
(300 字程度)	いて、フィールド調査を実施した。調査においては、哺乳類の
	痕跡 (爪痕、糞など) を探索し、発見地点の詳細な位置情報を
	記録すると共に、糞の一部を大学に持ち帰った。これまでの
	調査で、クマやシカが樹木に残した痕跡、キツネやテンの糞
	などが多数発見されている。また、大学において、糞から得た
	試料の遺伝子分析を行い、種同定を進めている。
	今後も同様の調査を継続すると共に、景観分析を行い、哺
	乳類の出現確率を数値化し、富山県全域における哺乳類の出
	現マップを作成する。
	特に変更無し。
当初予定と変更がある場合	
は変更点を記述ください。	

## 立山における哺乳類調査の様子



シカの痕跡調査の様子



糞の記録・採集の様子

